





# 相鐵ブランドを届ける。 最大のミッション。 安心・安全が みんなの想いを運びつづける!

相鐵ではお客様へ製品を配達するのは、基本的に全て自社便で行なっている。重量物の多品種輸送・小口配送システム。これらを可能にしているのが今回の主人公「配達部」の彼らである。この2~3年でみると、会社の成長と比例して配達エリアも拡大している。北は福島県小野町。南は千葉県成田市近郊、栃木県宇都宮・小山市。県西地区は境町や常総市、県南地区は稻敷市まで。圏央道の開通により、近くで遠い地区も配達エリアに取り込めたのが大きな要因となっている。入社歴が長い社員は「昔はいわき市・土浦市なんかはものすごく遠く感じたなあ。でも、今は毎日あたり前のように便ができる。今はその先まで配達だからね。」

配達効率を考え、遠方のお客様にはまとめた量を一度に運ぶことになる。よって、その分積み込む量も形状も自ずと重複となる。それを彼らは、トラックの荷台という舞台でそつなくこなすのである。そこにある想いは「少しでも早く、待っているお客様に安全に届ける」。その使命感だけが彼らの原動力になっているのかもしれない。「製品を運んでいるだけ

続いている配達部最古参の沢畑浩である。6ト

ン車に乗るベテランは、「俺は運転が好きだ。だからこの仕事を選んだ」と語る。体の疲労と戦いながら、今日もハンドルを握る。

相鐵で一番大きな8トン車に乗るのが檜山貴洋。トラックの大きさに似合わず、彼は几帳面に積み込みを行なう。お客様のところで降ろしやすくなるように考えながら、トラックの荷台は常に整理整頓されている。丁寧に心を込めて愛車を洗う彼の姿こそプロフェッショナルなのだと思う。

3トン車の機動力を活かし、オールマイティに立ち回るのが田所智成。配達部では最年少である。大型車が入れないところや、遠方へのスポット配達などを淡々とこなす。近い将来、大型車に乗っている彼の姿が楽しみである。

物流業界の人手不足がたびたびニュースで取り上げられる昨今、相鐵には心強い仲間が多いのだと実感する。今日も相鐵の看板を背負い、街を駆け抜ける彼らにエールを送ってほしい。ありがとうの一言が、彼らの大きな活力へと変わるのである。



氏名 ①自己紹介 ②趣味・特技 ③仕事での“やりがい”とは ④最近の悩み ⑤今後の抱負



## 萩庭 裕一

①人に優しくがモットーです②ゴルフ!③お客様からの「ありがとう」の一言④役職者としてのリーダーシップ⑤相鐵の一員として更なる高みへの挑戦



## 大湖 宣之 4トン車

①超ポジティブ思考!②実業団陸上部で中長距離を走っていました③お客様の笑顔と、「ありがとう」の一言④彼女を絶賛募集中です⑤無事故無違反、労災ゼロ



## 沢畑 浩 6トン車

①大らかで大まか②自宅のガーデニング③自分の積んだ荷物が、無事に納品できた時④足腰の衰え(年には勝てず)…⑤無事故で帰社すること



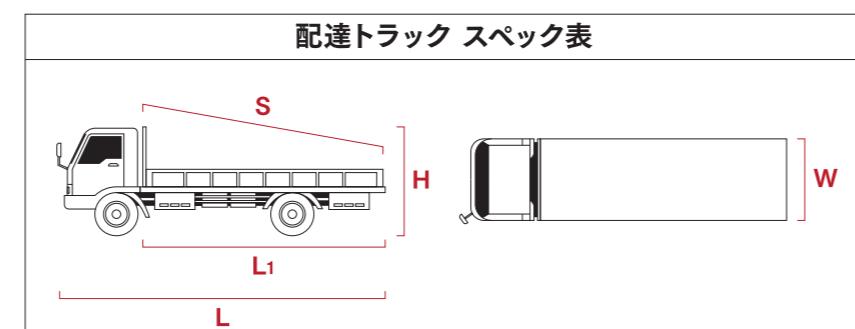
## 檜山 貴洋 8トン車

①実は掃除好きの地味な性格です②読書・料理・ハイキング③「今日もありがとう」の一言④顔の小じわと体脂肪が増えたこと⑤お世話になった人へ恩返しをすること



## 田所 智成 3トン車

①周りからは天然と言われます②スポーツ観戦③お客様からの感謝の言葉④怪我や体調不良が続くこと⑤4トン車以上を運転できるようになること



# 平山副編集長が行く! シンガポール視察レポート

## 相鐵を今よりもっと大きくしていくには

社員1人1人の向上心や協調性、必要な事を考えればやりがないが、その中でも、仕事量に見合った設備を整えるのも今の相鐵にとって大きな課題である。工場の増設や、港を利用した船での製品の配達。そんな野望を抱いている中、シンガポールの港湾を見学する機会をいただく事ができた。

シンガポールはとても小さな国であるが経済力は非常に高い。島国であることを利用した貿易中継地として栄えており、コンテナ取扱量は世界第2位である。

沢山の船から、沢山の荷物を。フォークリフトやクレーン、トラックなどを利用し、迅速かつ、正確に1日に1つでも多くの荷物を運ぶ。そのために、コンテナを動かすクレーンは自動運転の試験も行なわれていた。24時間無人でフル稼働で荷物を運ぶのもそう遠くなじみを感じた。

今回の出張で海外に行くのは2回目になるが、毎回強く

刺激を受ける。日本ではあり得ない、柔軟でユニークな発想を目の当たりにする。

57階の屋上にブルーを作るなんて、誰が考えたのだろうか。

しかしそのホテルはシンガポールで有名な観光地となって、5つ星の評価を得ている。

誰も考え付かないような事が、きっと沢山の人を魅了していくのだろう。

そんな柔軟な発想力も、相鐵を大きくするに必要な事の1つなのかもしれない。

### シンガポール

面積 7191.1km<sup>2</sup>(東京23区と同じくらい)  
通貨 シンガポールドル  
人口 560.7万人  
公用語 英語・タミル語・マレー語



昨年の10月21・22日の2日間、営業合宿で被災地である宮城県南三陸町を視察してきた。映像でしか見たことがないその現場を、肌で体感することができた。

常磐道から見える福島原発。その周辺では汚染物の入っ

た土嚢が積み上げられ、民家は当時のままそこに存在する。人や車の影はなく草木が伸び放題になっている。近くで遠い場所、そう感じた。

津波に襲われた南三陸町防災対策庁舎周辺も、道路や区画

整理はされつつあるものの、建物や街と呼べるものではなく、その現実を目の当たりにし嘆然とした。6年という月日が長いのか短いのか。私たちにできることを考え、この出来事を風化させてはならないと心に刻むには十分過ぎる時間だった。

**東日本大震災から6年  
現場の今をレポート!**

## おかげさまで“絶賛稼働中”。レーザー切断機の細部をご紹介!!

レーザー切断機の能力表	TLX-1470(コマツNTC)	LMRv TF2000(日立タナカ)	ENSIS 3015AJ(アマダ)
	対応可能素材・板厚		
鋼板(SS400)	3.2~32.0mm	1.6~12.0mm	0.3~12.0mm
ステンレス	3.0~28.0mm	1.0~5.0mm	0.3~6.0mm
アルミ・A5052	1.0~12.0mm	対応不可	0.5~6.0mm 純アルミ可(A1050)
その他	シマ板・SM400・SM490 ハイテン・ウェルテン	シマ板・SM400・SM490 ハイテン・ボンデ鋼板	銅・真ちゅう・チタン・酸洗 ボンデ鋼板・SPCC・ハイテン
発振器(定格出力)	CO <sub>2</sub> , 6kw	CO <sub>2</sub> , 2kw	ファイバー, 2kw
特長	厚板、大型板材がメイン 切断テーブル4000×2500mm	中板厚の切断がメイン 切断テーブル3000×1500mm	板厚0.3~3.2mmの鋼板は窒素切断 切断面が酸化せずにキレイ
設計部担当	太田	平山	水戸
製造部担当	藤咲	西山・神山	佐藤(洋)

\*上記以外の材料に関しても、お気軽にお問い合わせください。